

都市計画事業

JR北陸本線・JR高山本線・富山地方鉄道本線

富山駅付近連続立体交差事業



▲ 富山駅付近上空より

 富山県

■ 富山駅付近連続立体交差事業のあらまし

まちの中にある鉄道は、それを横断する道路交通の障害となるばかりでなく、まちを分断し、均衡のとれた都市の発展の阻害要因となることがあります。「連続立体交差事業」は、そうした鉄道を高架化することにより、円滑な交通を確保するとともに、まちの一体化を図るものです。

富山駅付近は、鉄道により南北に分断されているうえ鉄道と交差する2本の道路が2車線しかないため、駅南北間の交通が渋滞し、また駅周辺の効率的な土地利用や一体的なまちづくりに支障をきたしています。連続立体交差事業により鉄道を高架化することで道路の新設や拡幅を行うとともに、路面電車化された富山港線と南口の既設路面電車との接続や駅部での南北を連絡する歩行者用通路の整備など、南北一体となったまちづくりを推進します。

また、北陸新幹線建設事業、連続立体交差事業に併せて駅周辺の再整備を行うことにより、都市機能を充実させ、県都にふさわしい魅力ある都市づくりを行います。

■ 連続立体交差事業の概要

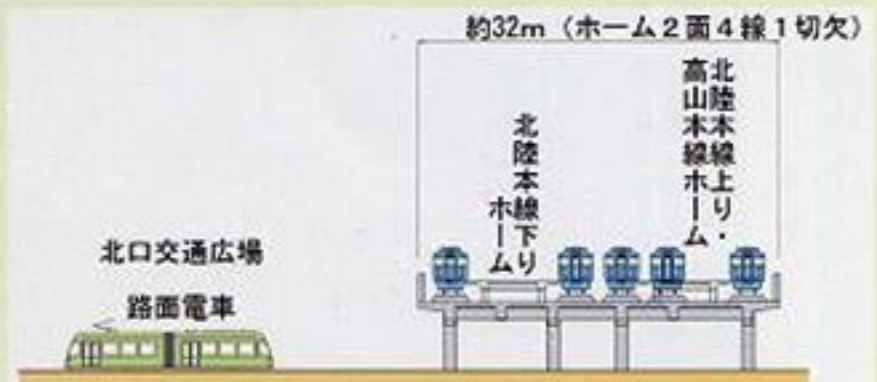
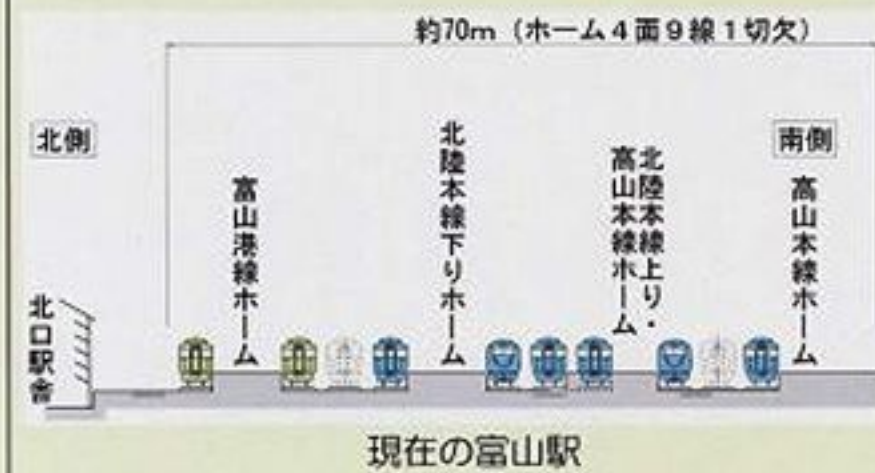
- ・対象線 : JR北陸本線、JR高山本線、富山地方鉄道本線
- ・事業区間 : 富山市明輪町～曙町
- ・区間延長 : 約1.8km (うち、高架構造区間 約1.6km)
- ・駅施設 : JR ホーム面数・線数 : 2面4線1切欠
地鉄 ホーム面数・線数 : 2面2線

■ 関連事業

- | | | | |
|--------------|----------------|-----------|------|
| ・横断道路 | (都) 牛島蛭川線 | (W=27m) | (拡幅) |
| | (都) 富山駅南北線 | (W=23m) | (新規) |
| | (都) 富山駅横断東線 | (W=12m) | (新規) |
| | (都) 堀川線 | (W=27m) | (拡幅) |
| | (市) 区画街路第503号線 | (W=10m) | (拡幅) |
| ・高架側道 | (都) 牛島本町線 | (W=11m) | (新規) |
| | (都) 富山駅北口東線 | (W=8~11m) | (新規) |
| ・駅前広場 (交通広場) | 南口交通広場 | 約12,000㎡ | |
| | 北口交通広場 | 約9,900㎡ | |
| | 西口交通広場 | 約5,000㎡ | |
| ・土地区画整理 | 富山駅周辺地区土地区画整理 | 約10ha | |

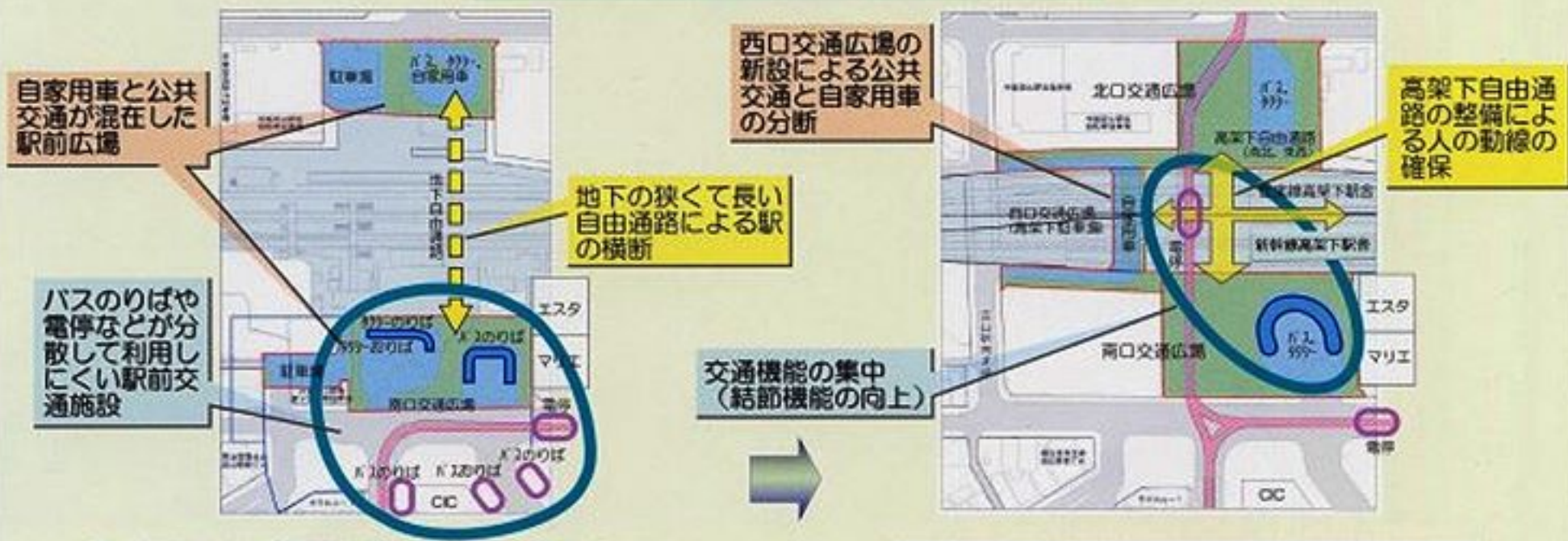
富山駅付近連続立体交差事業の特徴と効果

コンパクトな連続立体交差事業



富山港線の路面電車化や、新幹線整備にあわせた施工による、コンパクトな高架化によるコスト削減

使いやすい交通結節点の整備



鉄道と交差する道路の改良



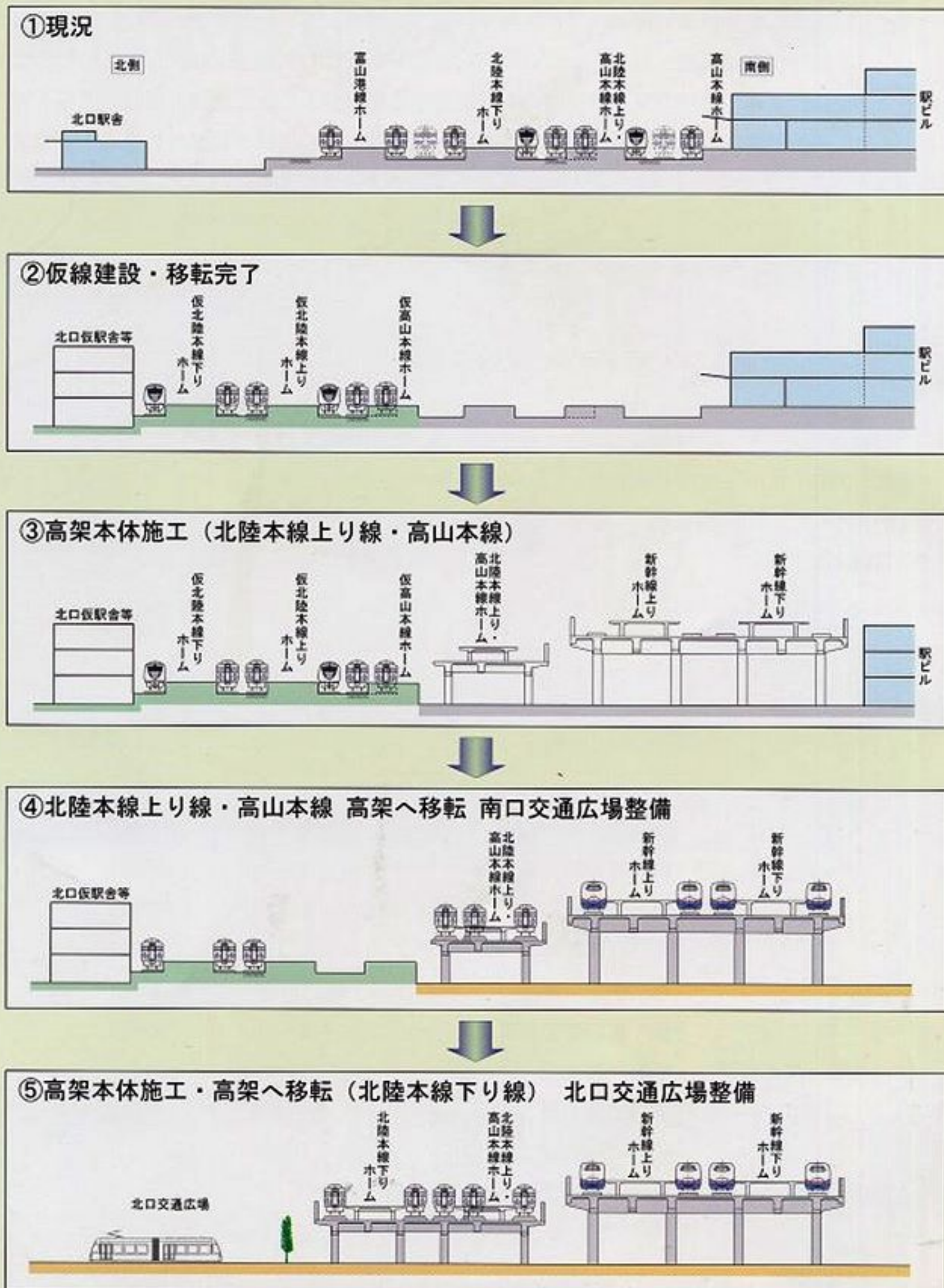
交通渋滞の発生、高さ制限アンダーパス等による制約



道路の平面化と拡幅整備

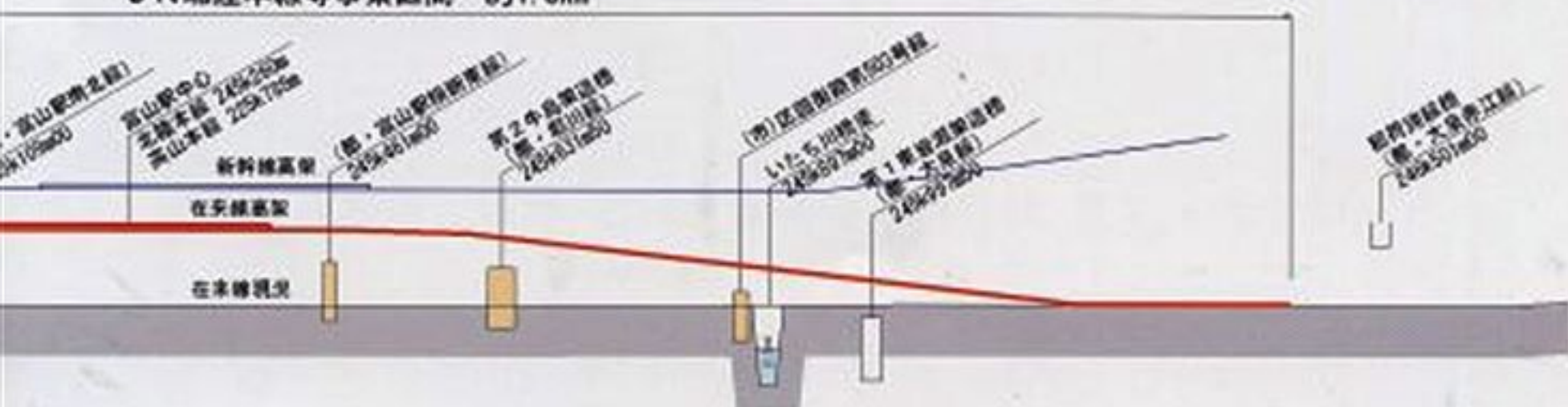
■ 高架化の施工方法

本事業は、仮線方式により施工します。在来線の北側に仮線を施工し、在来線を仮線に切り替え、現在の在来線の位置に高架橋本体を施工し、完成後に仮線を撤去します。

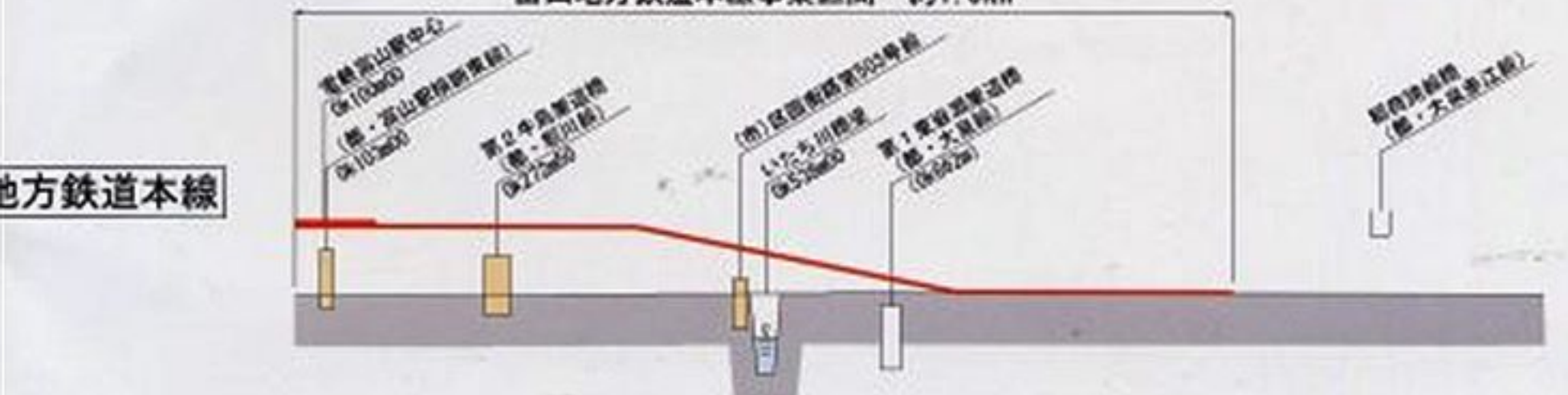




JR北陸本線等事業区間 約1.8km



富山地方鉄道本線事業区間 約1.0km



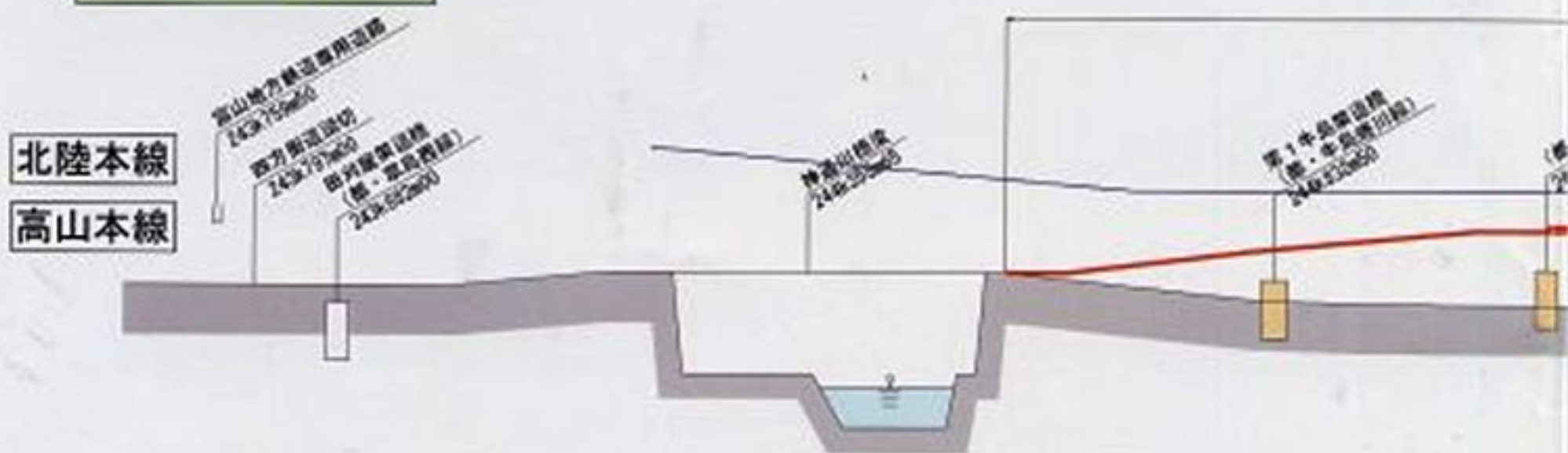
■ 平面図



凡例

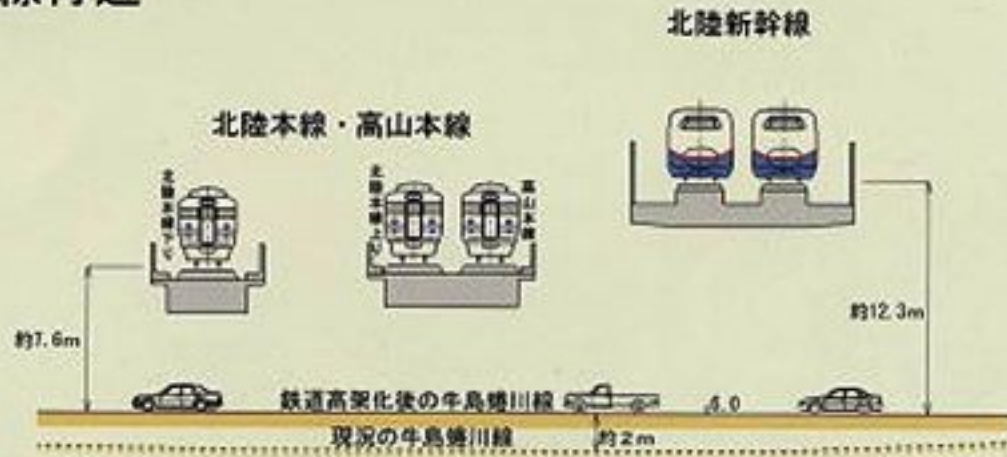
- 立体化される鉄道の範囲
- 立体化にあわせて整備される都市計画道路など
- 立体化にあわせて整備される駅前広場など
- 北陸新幹線
- 富山港線路面電車化ルート

■ 縦断図

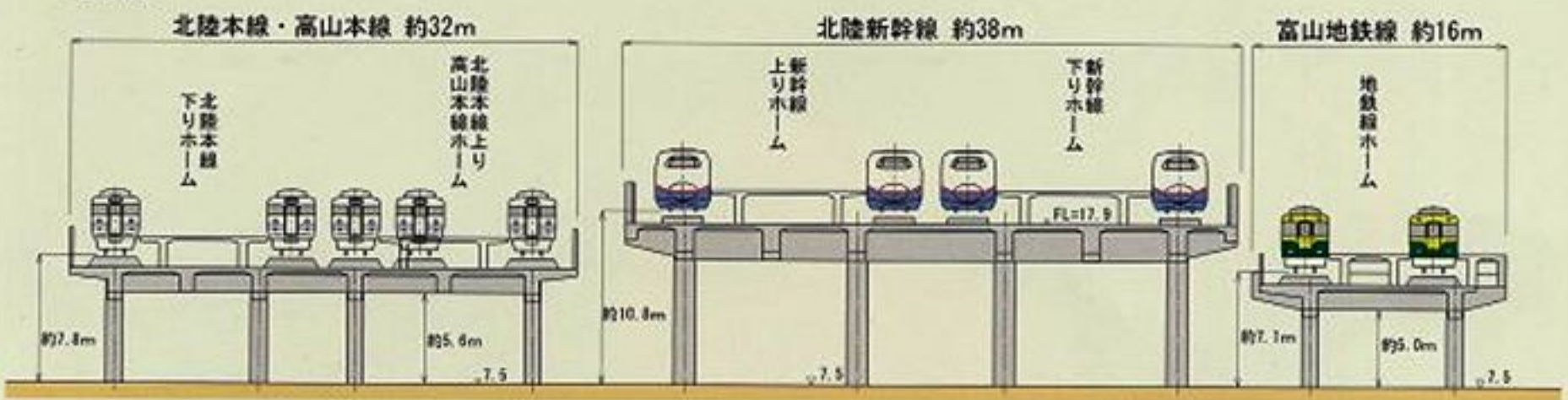


標準断面図

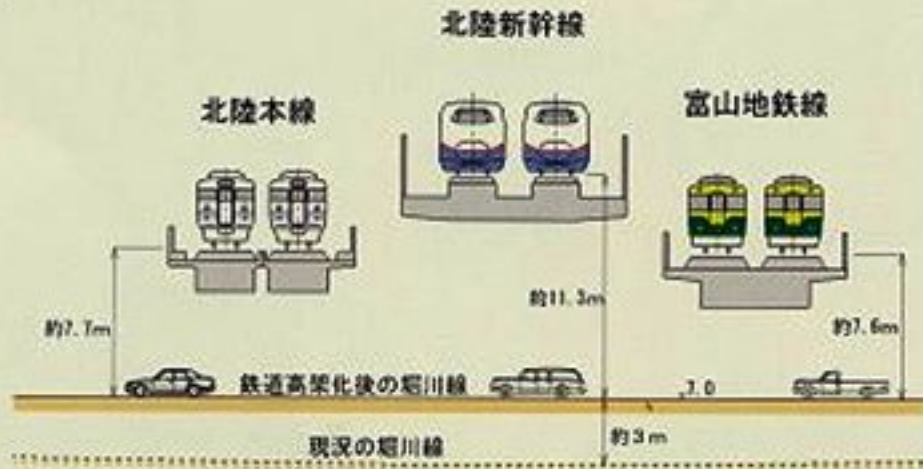
(都) 牛島蛭川線付近



駅部

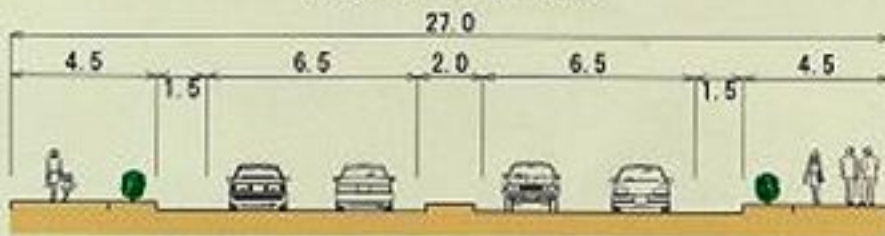


(都) 堀川線付近

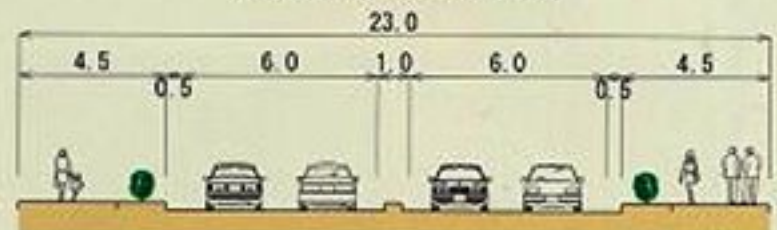


交差道路断面図 (都市計画道路)

(都) 牛島蛭川線



(都) 富山駅南北線

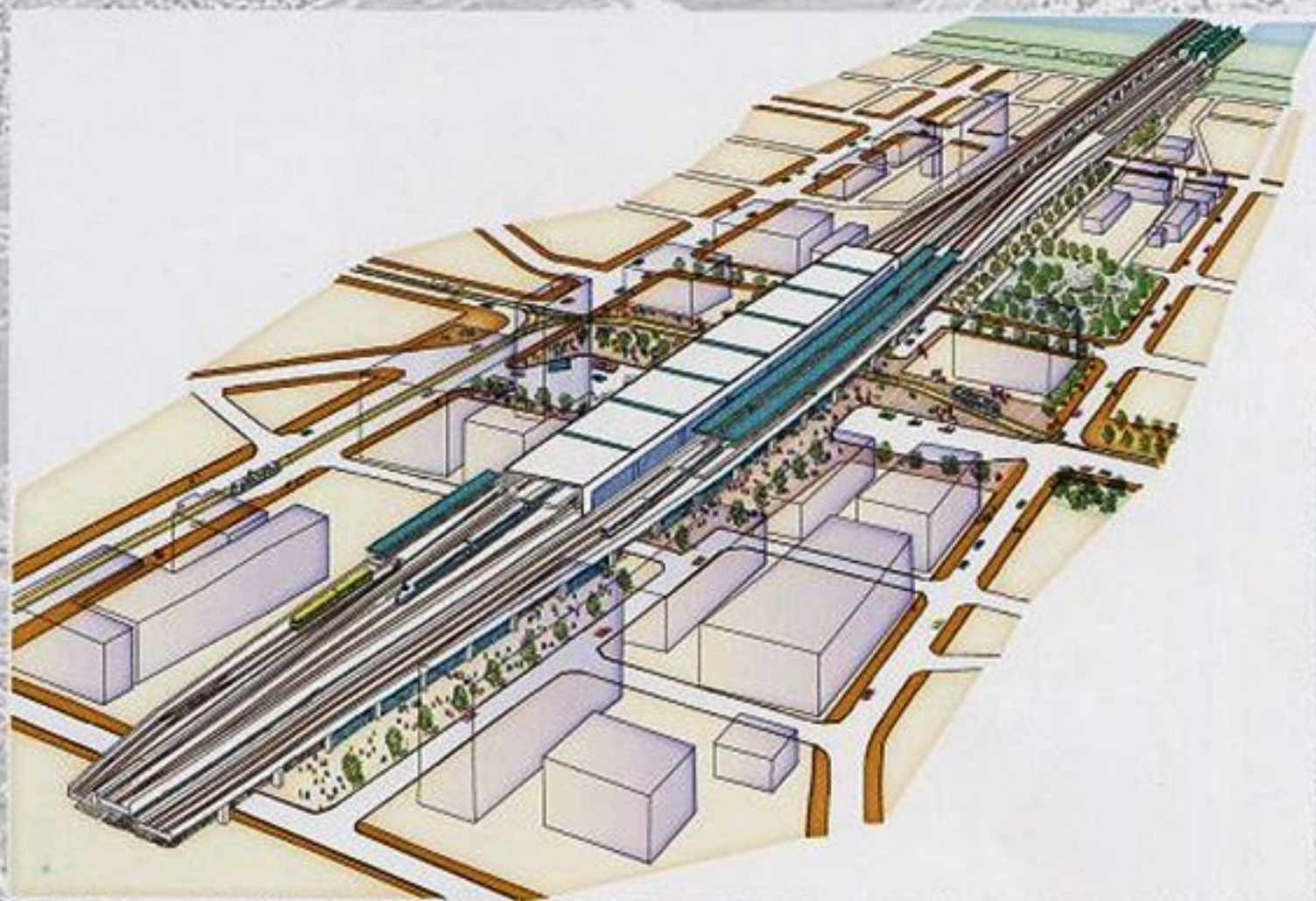


(都) 富山駅横断東線



(都) 堀川線





富山駅高架化イメージ図

お問い合わせ先
富山県土木部 新幹線・駅周辺整備課 駅周辺整備班

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL 076-444-3349

FAX 076-444-3474

連続立体交差事業は都市計画事業です。
この事業は道路整備の一環として、国土交通省所管の国庫補助事業として
施行します。

平成18年4月